

コミュニティデザイン project
『創絆集』造 応援隊



除幕する山口町長(右)と北山大志郎理事長(左)

■運営主体

NPO 法人ふるさと福井サポートセンター
(町が委託)

■場所

〒919-1141
美浜町郷市 25-25 美浜町役場別棟内

■お問い合わせ先

☎ 32-6719

コミュニティデザイン project

『創絆集』造 応援隊 事務所開所式

5月30日に、コミュニティデザイン project 『創絆集』 事務所開所式が町役場で行われました。

この組織は、地域を支える人材の発掘と、誰もが地域づくりに参加しやすい仕組みづくりを行うため、また、集落や各種団体、NPO等が、さまざまな課題に主体的に取り組み

るよう、町が委託し設置したものです。まずは、ヒアリングやアンケートを行い、町内の団体・個人のやりたことや課題等を調査し、その上で、活動のアイデアを引き出しながら、人や団体、行政を紹介し「つながぐ」ことによって、地域での取り組みを後押しする役割を担います。

人をつなぎ、まちをつくる
コミュニティデザイン project 『創絆集』 造 応援隊 発足

自分たちが住む地域を住みよいものにし、より良い環境を将来に繋いでいくためには、地域に住む皆さんが自ら課題を見つけ行動することが大切です。

また、地域活動を各々が行うだけでなく、つながりあうことによって、さらにまちづくりの輪が広がります。

今月号は、地域や町のために「何かしたい」と前向きに思っている人や現在活動している人を応援するため、このほど発足した町の新しい組織を紹介します。

※お問い合わせ先

町企画政策課(担当・武田) ☎ 32-6701

interview

「美浜を愛する前向きな人」とコミュニティデザインをとりながら、思いや悩み、したいこと等を聞いていきます。美浜には、活躍の場や人とのつながりさえあれば、自ら動いてくれるエネルギーを持った人がたくさんいます。そういった人たちが掘



NPO 法人
ふるさと福井サポートセンター
理事長 北山 大志郎 さん

まちづくりには

「美浜を愛する前向きな人」が必要です

平成27年度末まで、第五次美浜町総合振興計画の策定に委員として関わってきました。人口減少や空き家増加等、町の将来を考える中で、住民が住民のための活動を行い、それを行政がサポートする「協働のまちづくり」を早急に進めることが必要だと感じ、応援隊を結成しました。私は普段、空き家と移住希望者とをマッチングする活動を行っていますが、人と人をつなぐことによって、新しい集まり(コミュニティ)が生まれ、地域が活性化した場面を見ました。この経験を応援隊でも活かそうと思っています。

応援隊では、「美浜を愛する前向きな人」とコミュニティデザインをとりながら、思いや悩み、したいこと等を聞いていきます。美浜には、活躍の場や人とのつながりさえあれば、自ら動いてくれるエネルギーを持った人がたくさんいます。そういった人たちが掘

住民主体のまちづくり
少子高齢化や人口減少、災害の大規模化・頻発化等、社会の変化に伴い、地域の課題は増えていきます。地域の課題を見つけ、迅速に対応することができるとは、地域に住む人々です。「自分たちのまちは自分たちでつくる」意識を持ち、積極的にまちづくりに関わることで、周りの人とのつながりが強まり、助け合いの心が生まれ、地域に住む人の意見が尊重される、より豊かな環境を築くことができます。

地域のために何ができるか
まちづくりと一言で言っても、その方法は一つではありません。「地域で防災・防犯に取り組む」「祭りやイベントを開催する」「子どもを守る」「一人暮らしのお年寄りを支える」「伝統文化を伝承する」「景観を良くする」「身近な自然を守る」等、さまざまな取り組みがあります。まずは、「周りの人が何か必要としていないか」「自分の得意なことを地域に役立てられないか」等と考えることから始めてみましょう。



～JR小浜線は地域の宝物 みんなで乗ろうよ小浜線 切符は美浜駅で買ひましよう！～

JR小浜線利用促進助成をご利用ください



シニア利用者助成

条件
美浜駅で小浜線区間を利用する切符を購入した場合

対象者
町内に住所を有する満65歳以上の方で、町税等に滞納がない方

助成額
購入額の3分の1
※限度額は、1回の購入につき1人あたり1,000円

申請方法
美浜駅に備え付けの申請書兼請求書に運転免許証または健康保険証の写しを添えて、美浜駅または町企画政策課まで提出して下さい。

その他
※特別企画乗車券は対象外となります。
※回数乗車券、団体割引乗車券は下記の助成をご利用ください。

回数乗車券の助成

条件
美浜駅で小浜線区間を利用する回数乗車券を購入した場合

対象者
町内に住所を有する方で、町税等に滞納がない方

助成額
購入額の10%
※限度額は、1回の購入につき1人あたり1,000円

その他
※その他、団体旅行の助成、学生団体等の助成を実施しています。詳しくは町のホームページをご覧ください。
(トップページ > 手当・助成 > 小浜線利用促進助成)

申請書兼請求書
美浜駅に備え付けの申請書兼請求書に運転免許証または健康保険証の写しを添えて、美浜駅または町企画政策課まで提出して下さい。

※お問い合わせ先
町企画政策課(担当・山本) ☎32-6701

今年度も実施！ 夏休み親子旅行助成 夏休み！親子で行ってらっしゃい

対象期間 7月1日(金)～9月30日(金)

対象旅行
美浜駅で発行する切符を購入して、JR小浜線を利用した親子旅行。
ただし、次のいずれかに該当する場合は、原則として助成対象となりません。

- ①親子旅行の変更・中止等により切符の払い戻し等を受けた場合
- ②各地区子ども会等の団体主催による親子旅行

対象者
切符を購入した時点で、次のすべての条件を満たす方

- ①本町に住所を有する親子。(親子旅行には中学生以下の者が1人以上含まれていること)
※親子とは、子どもの親に限らず祖父母等3親等以内の親族を含む。
- ②美浜駅または東美浜駅を始点または帰点としたJR切符であること。
- ③町税等に滞納がないこと。

助成額
購入額の3分の2(限度額10,000円)を助成します。
※助成は、1世帯1回限りとする。(子どもと別世帯の親族とが旅行した場合も1世帯とする)

助成件数
原則として先着30組とします。

申請方法

- ①美浜駅で切符を購入した際に、美浜駅に備え付けの申請書兼請求書に販売証明を受けてください。
- ②親子旅行実施後20日以内に町企画政策課へ申請書兼請求書を提出して下さい。

耕作放棄地の発生防止・解消活動が評価され 新庄わいわい楽舎が全国農業会議所会長賞を受賞



↑全国農業会議所会長賞を受賞された新庄わいわい楽舎



↑5月26日に東京で行われた全国農業委員会会長大会で、表彰状を受け取る藤本悟代表理事

6月2日に、第8回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰において全国農業会議所会長賞を受賞された、新庄わいわい楽舎の受賞報告会が町役場で開かれました。

本表彰は、農業委員会系統組織の全国組織である全国農業会議所が、模範となる耕作放棄地対策の取り組みをたたえ、広く周知するために行ったものです。

新庄わいわい楽舎は、牛の

お問い合わせ先
町農林水産課(担当・上光)
☎32-6706

放牧や耕作放棄地を活用した水田での運動会(下ロリンピック)の開催、農業体験の受け入れ等の取り組みが評価され、受賞に至りました。

山口町長は、「創立から10年、獣害防止柵の設置や町内の若者を巻き込んだ活動等に、町内でもいち早く取り組んでこられた。今後ますますの活躍に期待しています」と述べました。

空き家への適切な対策に向けて 美浜町空き家等対策協議会を設立

お問い合わせ先
町美浜創生戦略課(担当・南)
☎32-6715



↑委員を代表し委嘱状を受け取る大塩一成さん



↑第1回美浜町空き家等対策協議会

6月7日に、第1回美浜町空き家等対策協議会が町役場で開かれました。

本協議会は、空き家の適切な管理や利活用を進めるために町が設置したもので、区長や会長や建築、不動産、防災等の関係者、町職員16人で構成されています。

平成27年5月に国が施行した空き家対策特別措置法では、倒壊のおそれや衛生上の問題等がある空き家については、行政による助言や指導、勧告、撤去を含む行政代執行

ができることになりました。

協議会では、同法律に基づき、空き家への対策について定める「美浜町空き家等対策計画」を、平成28年11月末をめどに策定します。

山口町長は「町内でも、強風による空き家の倒壊が起きており、住民に危険が及ぶ空き家への早急な対策が必要だと感じている。委員の皆さんにご意見を頂きながら取り組んでいきたい」と話しました。

運転しないときでも エコドライブ

車の燃費向上のための工夫を「エコドライブ」と呼びます。先月号では、運転中に実践できる「エコドライブ」として、発進・巡航・減速・停止の4つの走行パターンごとの実践例を紹介しました。

今月号では、運転時以外に取り組みめるエコドライブを紹介します。

美浜の 環境 シリーズ 92 environment

③ **タイヤの空気圧から始める点検・整備**
タイヤの空気圧が不足すると、より多くの燃料を消費します。適正な空気圧で走行するために、定期的なチェックを習慣づけましょう。また、エンジンオイル、オイルフィル

② **空気抵抗を減らす**
空気抵抗が増えると、燃料消費量が多くなります。使わないキャリアやルーフボックス等は外しましょう。
また、高速走行はより多くの空気抵抗を受けます。高速走行時には、窓を開けながらの走行も空気抵抗を大きくする原因となるので、窓を閉めて外気導入にする等工夫をしましょう。

① **不要な荷物は積まずに走行**
車が重くなるほど、加速時にかかる抵抗が大きくなるので、アクセルを強く踏み込みがちになり、燃料消費が多くなります。ゴルフバッグやキャンプ用品のようなレジャーに使った荷物等は、必要な時以外は車から降ろすように心がけましょう。

運転時以外にできる
燃費向上の工夫

① **事前に計画を立てる**
道に迷わないように目的地までの

余計な車利用を減らす工夫



④ **エアコンの温度設定はこまめに調節**
エアコンの使用は、多くの燃料を消費します。夏場は必要以上に車内を冷やさないように、こまめに設定温度を調節しましょう。
なお、車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。冬場、暖房機能のみ必要なときは、エアコンスイッチをオフにしましょう。



タ、エアクリ・ナエレメント等を定期的に交換することで燃費が改善します。

※お問い合わせ先
町住民環境課(担当・藤村)
☎ 32・6703

③ **買い物時の工夫**
買い物を一箇所で済ませる、駐車場が空いている時間帯を利用する、立体駐車場より平場の駐車場を選ぶ等のちょっとした工夫をしましょう。
車は今や私たちの生活になくてはならないものです。皆さんの使用環境に合わせて、こうしたアイデアを組み合わせて、無理なく地球に優しいカーライフを送りましょう。

② **交通手段の選択**
近距離で荷物が少ない場合等は自転車や徒歩で出かけ、公共交通が便利な場所では積極的に活用しましょう。



経路を確認したり、渋滞を避けるために渋滞情報のチェックや出発時間を検討したりすること、余計な走行をしないようにしましょう。

美浜発電所の状況

今回の報告では、5月18日から6月16日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

美浜1号機	運転終了(平成27年4月27日)
美浜2号機	運転終了(平成27年4月27日)
美浜3号機	第25回定期検査中(平成23年5月14日～)



全国原子力発電所所在市町村協議会の総会が開催されました

5月19日に、全国原子力発電所所在市町村協議会の総会が都市センターホテル(東京)で開催されました。

当日は、当協議会の会員29市町村の首長及び議長等が出席し、平成27年度の事業報告や、平成28年度事業計画(案)等が審議、可決されました。本年度は、役員改選が行われ、全国5ブロックから各1名選出される副会長に、若狭地域から山口治太郎町長が選任されました。任期は2年間となります。

議案審議後に行われた国との意見交換では、原子力規制庁や経済産業省等の関係機関出席のもと、原子力発電を取り巻く課題や問題点について、活発な意見交換が交わされました。



↑全国の原子力発電所所在市町村等が一堂に会し、平成28年度の事業計画等を審議

意見交換で山口町長は、主に次の3点について国の見解を求め、各担当省庁から回答を得ました。

(経済産業省への質問と回答)

問1 エネルギーミックスでは、2030年の原子力比率は20〜22%と明記されているが、原子力発電所の増設・リプレースについて明確な方針を示していただきたい。

答1 「原子力比率20〜22%」は、原子力発電所30基程度が稼働率80%程度で稼働すると達成できると想定しているため、増設、リプレースは想定していない。福島事故の後に失われた原子力の社会的信頼回復への取り組みに傾注することは大事であり、引き続き安全最優先の姿勢で再稼働に対応していき、国民の理解、社会的信頼を回復すべく取り組んでいきたい。(経済産業省吉野恭司エネルギー政策統括調整官)

(内閣府への質問と回答)

問2 高浜3・4号機の裁判において、具体的な避難計画が必要であると決定文に明記されている。内閣府の支援によって策定した避難計画を、地域住民に限らず広く説明していただきたい。

答2 内閣府としても、原子力防災の広報は頑張らなければいけないという問題意識を持っているので、これからもしっかりと取り組んでいきたい。

い。(内閣府森下泰政策統括官付参事官)

(原子力規制委員会への質問と回答)

問3 原子力規制委員会は、世界最高水準とした新規制基準について、また、新規制基準に適合した発電所の審査結果について、国民に対してわかりやすく丁寧に説明していただきたい。

答3 規制庁としては、透明性を確保するため、規制委員会は公開で審査を行っている。今後も一般の人が理解しやすいように、絵や写真等を用いた概要書を作る等、いろいろな工夫をして対応していきたい。(原子力規制庁荻野徹次長)

町では、今後も当協議会と連携しながら、原子力発電を取り巻く課題や問題に取り組んでいきます。

また、同日開催された福井県原子力発電所所在市町村協議会総会において、山口町長が同協議会の会長に選任されました。



↑国との意見交換で国の見解を求め山口町長